

平成 30 年度 長野県犀峡高等学校・篠ノ井高等学校犀峡校 関東同窓会について(報告)

関東同窓会会長 山口 繁実

平成 30 年 6 月 2 日 (土)、千代田区麴町の弘済会館において、標記同窓会総会及び懇親会が開催されました。

1 総 会

開会の辞に引き続き、39 年度卒業の今井治江さんの指揮により、犀峡高校の校歌を斉唱しました。その後、35 年度卒業の山口繁実関東同窓会長の挨拶がありました。

会長からは、同窓生として仲間として今後も交流を続けていけるよう頑張りますとの決意表明がありました。篠ノ井高校犀峡校として 8 年目を迎えたこと、今年度の入学生は男子 15 名・女子 9 名の 24 名で、全校生徒数は 71 名との紹介がありました。少人数ではあるが中味の濃い学習ができること、地域の人達といろいろな交流があり、よい環境で充実した学習が行われているとのお話がありました。また、今年も昨年同様カヌー部への募金をお願いしたいとの寄附の依頼がありました。

年々、歳を取り出席者も少なくなりがちなので同級生に声掛けをして同窓会へ出席されるよう努力してほしい旨のお願いがありました。

次にご来賓からお祝辞を頂きました。

吉澤幸治 本部同窓会長様から、カヌー部に対する募金を沢山頂きありがとうございますとお礼の言葉がありました。学校を卒業して以来、新町で生活しているが、自然環境もよく感謝している。同窓会の活動を通じて学生諸君、保護者の皆様に感謝され喜んで頂いているのが励みになります。子どもたちの将来の事や進路について相談にのっています。卒業後、社会人として適応できるためにも職業体験をしてもらい協調性を学んでもらっている。犀峡校が長野県で唯一のカヌー部のある学校になったため、カヌー部を目玉にして、今後も学校運営等応援していきたい旨の挨拶がありました。

岩田学 篠ノ井高等学校長兼同校犀峡校校長からは、念願の関東同窓会に出席できて大変嬉しいとの挨拶がありました。

平成 23 年に篠ノ井高校犀峡校としてスタートしてから 8 年目を迎えました。長野県教育委員会にも照会しましたが、犀峡高等学校が発足してから、今年は、100 年目に当たるとのことです。犀峡校としましては、2 年後には節目の 10 年を迎えます。記念行事を企画したいと思っていますので、皆様の知恵と協力をお願いしますとのお話がありました。

少子化の影響を受け、高校改革の議論が始まっており、学校としても今までの授業の仕方では社会に対応できる人に育つのは難しいと思われるので、英語教育、コンピューター関連教育に力を入れています。社会の変化に馴染める人間、グローバル化・専門化に対応できる人材を育てるために、学校としてどのようにしたら良いか考えていきたい。

少子化は益々進むことが予想されます、旧第4通学区（主に長野市）の中学卒業生数は、平成2年には4,500名、平成20年には2,700名、平成30年には1,900名（推定値）、と30年間で60%近く減少する見込みです。現在、県立高等学校の第二次再編の検討が始められています。犀峽校もこの波からは逃げられない旨のお話がありました。

山極俊一郎 篠ノ井高校犀峽校副校長先生は4月に着任しました、よろしくお願いますとの挨拶がありました。年一回同窓会の先輩が来校し講演をして頂き、先輩を通じて社会を学ぶことができ、進路を考える上で大いに役立っている。今後ともお願いますとの挨拶がありました。

犀峽校の教育については、配布資料「犀峽の教育 第15集（2017年度）」を参考にさせていただきたい。「小さなキャンパスが拓く 大きな可能性」という資料は、新町のいいところを生かした犀峽校の教育について載っています。平成23年の開校以来8年目となり、今年は第5回目の卒業生27名が卒業しました。第5回目までの卒業生は120名を超えました。私は現在里穂刈に住み、学校までは15分位ですので、出勤前に散歩をしながら写真を撮ったりして楽しんで通っています。

3月までは中学校の勤務で、久しぶりに高校に戻ってきました。中学・高校勤務を通じて、子どもたちに国や地域の未来がかかっていると感じています。教育者として、生徒が少ないなりに少数精鋭、少人数ならではの教育を推進していきたいと思います。4月に赴任してから5月までに、全校生徒と面談しました。生徒たちから信州新町のこと、カヌーのこと、羊のこと、いろいろ教えてもらいました。印象として、よく話ができる、語れる生徒が多く、力や可能性を感じています。これらは犀峽校の教育活動や地域での体験的な学習から身につけられたものが大きいと思います。小学生の頃、本校生と遠足に行ったことを覚えていたり、小学生のカヌー体験で本校生が指導者として教えてくれたことがカヌーを始めたきっかけであったり等、先輩方のさまざまな取組みがあってその伝統を引き継いでいると感じました。朝陽にキラキラと輝く犀川の流れるように生徒たちの輝きを感じている。報道等で見ると犀峽校の紹介の他、学校のホームページに日々の活動を載せているのでぜひ御覧いただきたい旨の挨拶がありました。

その後、総会議事に入り、平成29年度事業報告、同会計報告、同監査報告が行われ、全て承認され総会は終了しました。

2 懇親会

第二部の懇親会は、昼食を兼ねての開催となりました。30年度卒業の西澤清様の乾杯で始まりました。

犀峽高校の「応援歌」、「信濃の国」、「故郷」を全員で合唱し、大いに盛り上がりました。また、今井治江さんの作詞作曲の「同窓会」という歌が披露されました。30年度卒業の金澤理勝様の中締めによりまして、盛大なうちに関東同窓会は閉会となりました。

最後になりますが、48年度卒業の吉田昇様から個人負担での御土産が用意され出席者全員に配布されました。心から御礼申し上げます。あえて披露させていただきました。また、今回の総会・懇親会に多大なご協力を頂きました弘済会館の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(広報担当 太田正孝)





